

体で学ぶ —ラーニング・コモンズ—

大学では学生の皆さんは専攻する様々な学問分野について勉強しているわけであるが、それぞれの道を究めるすなわち納得できる程度まで修得することは、それほど簡単なことではない。もちろん本当に優秀な人であれば別であろうし、逆に全然駄目な人であればいくら努力してもものにならないであろう。孔子も論語の中で「唯だ上知と下愚とは移らず」と述べている。これを裏返して考えると、世間の大部分を占める普通の人は、誰でも学習することによって善くも悪くもなる。論語の先の一節の並びに「性、相い近し、習えば、相い遠し」とあるのは、まさにこのことを示している。人間は生まれつきは似かよっているけれども、その後の教育のいかんによって格差が生じることになる。結局、凡人は生活全般を自己規律しなさい、それが大学生であればとりわけ本分である勉強をしっかりやりなさいということになる。しかし、どうしたら学ぶ効果が上がるであろうか。

一方においては、自己の能力に簡単に見切りをつけずに頑張り通す意志が大切である。同じ論語の別の個所に、「冉求が曰く、子の道を説ばざるには非ず、力足らざればなり。子の曰わく、力足らざる者は中道にて廃す。今汝は画れり」という一文がある。一般的に言って努力することは決して楽なことではないので、我々は努力しないことについて何かと言ひ訳をしがちであるが、そういう態度ではいけないと中々厳しいのである。確かに申し開きをせずに継続して学習するねばり強さは、勉学の成果を上げるにあたり不可欠であろう。

しかし他方においては、強固な意志といった精神論を説いても具体性がないので、学んだことが消えてしまわずにどうしたら身につくのか、誰にでもできるもう少し技術的な方法について、私の個人的経験を踏まえて述べてみたい。それは一言にすれば、学習は頭でするだけではなく体の全体を使ってすることが重要であるということである。自

図書館長/法科大学院教授 滝澤 正



転車の乗り方や水泳の仕方を覚えるのは、「量水練」という言い方があるように理論よりも実践経験が大切であり、また一度体で覚えると決して忘れないものである。学問について同様のことを主張するのは奇異に感じられるかもしれないが、次のような意味でやはり真実であると思うのである。

学問を頭でするというのは、講義を聞いたりテキストを読んだりといったことであり、受動的な知識の会得を目指すことをいい、学問を体を使ってするというのは、学んだことを自分の言葉として書いたり述べたりする能動的な態度が加わった勉強をいう。聴いた内容や読んだ内容は、その時点では鮮明に覚えていても、時を経ずして忘れてしまう宿命にある。ところがレポートを書く、教室でディベートをするといった体を使った作業をするためには、手や口を介在させた積極的な肉体運動が必要となる。そしてこの表現運動が意義あるものとして展開するためには、頭で仕入れた内容を十分に理解することが必然的に前提となる。高度の復習効果が組み込まれていると言ってもよい。

近時は演習における発表といった機会が拡大している。大学教育全体のあり方として、学生が積極的に参加する双方向的、多方向的な授業が重視されつつあるためである。図書館としても、図書を貸し出したり自習の場を提供するといった伝統的な学習支援に加えて、こうした能動的学習を助ける機能を充実させることを目指している。中央図書館の地下1階に開設を予定しているラーニング・コモンズもその一環として位置づけることができる。多様な学習ツールとしての図書館の積極的な利用を期待するのである。

CONTENTS

1 体で学ぶ—ラーニング・コモンズ—

滝澤 正

図書館長/法科大学院教授

特集

2 2009年夏 地下1階が 新しく生まれかわります

4 著作権を守ろう!!

5 図書選定委員お薦めの本

Helena H. Toida

外国語学部ポルトガル語学科図書選定委員/外国語学部准教授

連載

6 文献の探し方 >>4

「文献(情報)を探す」

8 図書館からのお知らせ・図書館豆知識

2009年夏 地下1階が新しく生まれかわります

中央図書館地下1階南側に 「多目的学習スペース（ラーニング・コモンズ）」を設置します。

中央図書館地下1階にはグループ学習室が3室あり、自由に予約してグループでの研究・発表等に活用していたでいます。今回、地下1階の南側エリアを改修し、グループでの学習・討議、パソコン利用、プレゼンテーションなど多目的に利用できるスペースを新たに設けることになりました。

これまで図書館内ではグループ学習室、学生ラウンジを除き、会話等にご遠慮いただいておりますが、他のエリアとの間にドアを設けましたので、討議のための会話などが可能なスペースとなります。無線LAN（一部有線LAN）環境が整っていますので、持参したノートPCを思い思いの場所で使い、冊子体資料と電子資料を併用した学習もできます。

なお、既存のグループ学習室用に液晶プロジェクターを用意し、パソコンを使ったプレゼンテーションができるようになります。



Copyright 株式会社 竹中工務店

エリア内は目的によるゾーニングがされていますが、基本的には机・イスを自由にレイアウトしていただいて結構です。

<レイアウト図・イメージ>

①PC利用エリア (18席)

持ち込みPCが利用できます。
(有線LAN対応)

②グループワークエリア (40席)

人数に合わせて机を移動して
グループ学習ができます。

③サービスデスク

利用案内、機器の貸出等を行
う予定です。

④学習支援席 (4席)

レファレンスサービスなどを
行います。

⑤プレゼンテーション エリア (40席)

普段はグループ学習席として
利用しますが、プレゼンテー
ションやセミナー会場として
利用できます。

※③④のエリアは、当初は特定の
時間帯のみのサービスを予定しております

Copyright Maruzen Co.

ラーニング・コモンズでできること

- ・無線（一部有線）LANによるインターネット接続
- ・グループ学習
- ・セミナー（データベース講習会等）

今後の計画

- ・論文の書き方指導を行うライティングセンター機能
- ・貸出ノートPCの利用

*Learning commons is
a place to learn and share.*

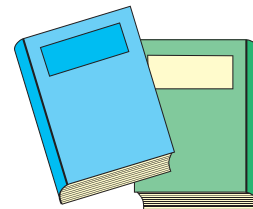
★注意★

- ・ラーニング・コモンズに限らず、図書館内での飲食はできません。
- ・会話はできますが、他の利用者・グループの迷惑にならないよう節度のある利用をお願いします。
- ・学習目的のエリアですので、サークル活動等とはご遠慮ください。



著作権を守ろう!!!

～ PROTECT THE COPYRIGHTS ～



みなさんは図書館の図書や雑誌など、なんとなくコピーしていると思いますが、実はコピーの際には大事な約束事があります。今回は、図書館だよりNo.4で告知していました、「著作権について」の特集です。

著作権とは？

図書館には図書や論文、映画、データベースなど、個人や団体によって作成された著作物がたくさんあります。その著作物を著作者以外の第三者が無断で利用したり、公表したりすることのないように著作権者を保護する法律が著作権法です。権利者に無断で複写したりすることは違法行為にあたります。ただし、図書館の蔵書は、著作権法第31条「図書館における複製」で規定された範囲でのみ複製することができます。(注1)

Q&A形式で著作権法について分かりやすく解説してみました。
著作権法を理解して、気持ちよく、図書館を利用しましょう！

Q 図書館資料の複写はどのくらいできるの？

A 複写できるのは著作物全体の1/2未満です。資料を全て複写することはできません。
※1/2以上の複写の場合は著作権者の許諾が必要となります。

Q 論文は複写できるの？

A 雑誌などの定期刊行物に掲載された各論文は論文全体を複写できますが、次号が刊行されたもの、発行後相当期間(3ヶ月)を経たものに限ります。最新号の場合は1/2未満までです。

Q 一人何部まで複写できるの？

A 一人1部のみです。同じものを複数部複写することはできません。

Q 無償なら再複写してもいいの？

A 有償・無償に関わらず、再複写、頒布することはできません。

(注1)あくまでも、調査研究のための利用に限ります。

ジラルド・著／松本乃里子・訳
『フリッチス — ふしぎな色の旅』
(Flicts / Ziraldo)



ブラジルの文学作品は近年少しずつ翻訳されているが、まだまだ数の上では少ない。児童文学の分野では、数年前に一冊刊行されたと記憶にある以外は皆無であった。国際アンデルセン賞受賞者が二人いるにもかかわらずである。だが2009年2月、ブラジルでロングセラーの絵本が、本学ポルトガル語学科卒業生の翻訳により刊行されたのである。これは実に嬉しい出来事であった。個人的に翻訳者のこの本に対する想いを知っていたので、喜びはひとしおであった。

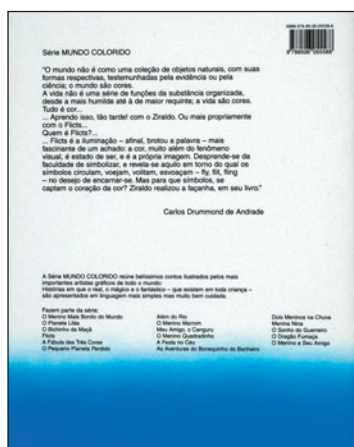
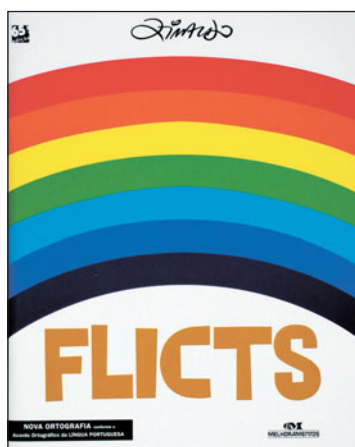
著者ジラルドは児童文学作家以外に漫画家、ジャーナリスト、劇作家など、様々な分野で活躍する人物だが、他の絵本を見ると、やはり彼は大人向けの児童文学が得意なのではないかと思う。『フリッチス』は、人類が初めて月面に着陸した1969年に書かれた彼の代表作であるが、以後ずっと版を重ね、現在も読者を魅了し続けているのである。

ブラジル現代詩の重鎮である、カルロス・ドゥルモンが「世界は色でできている。すべては色なのだ。」と言っているように、この作品は全体を通して色彩豊かに描かれている。フリッチスは作者が命名した色の名前だが、彼は自分の居場所を探して旅に出るのだ。遠い国日本にも美しい国ブラジルにも居場所は見つからない。思いあぐねたフリッチスは、ある日探すのをやめて天高く上っていく。その先にあるものとは？

本の帯に書かれている「ふしぎな色「フリッチス」が教えてくれる、大切なこと」とは？

外国語を勉強するのに一生懸命で、母語や自国の文化に対する視点が曇りがちになるという経験はないだろうか。私の場合も例外ではなく、この絵本は私をポルトガル語やブラジルの素晴らしさを再発見する旅に誘うものだった。何よりも、翻訳者の松本さんが初めてこの作品にブラジルで出会い、翻訳しようと決意してから、数十年もの年月を経て世に出したということに敬意を表したい。

ブラジルにも素晴らしい絵本が数多くある。日本語に訳される作品は数少ないかもしれないが、もし機会があれば手にとって、ブラジルの児童文学の世界にも触れてみてほしい。



原書表紙・裏表紙

>> 図書館所蔵
FLICTS：書庫7階
請求番号 PQ:9288:I73:F65:1984

文献の探し方 >> 4

「文献(情報)」を探す

～『地球温暖化』に関する文献(情報)～
リストを作ってみよう

図書館には様々な資料がありますが、実際にレポート・論文を書くにあたって、どのような手順で図書館の資料を活用すればよいのでしょうか？皆さんに図書館の資料を有効に使っていただくために、レポート・論文を執筆するために知っておくと便利な「文献の探し方」を連載しています。

第4回目は「探し出した文献(情報)を整理する」です。『地球温暖化』というテーマを例にとり、文献(情報)の整理の仕方についてご紹介します。

レポート・論文作成の手順 ■■■■

① 用語を調べ、 テーマを決める

辞書、百科事典、データベース、インターネット情報等により、テーマについて調べましょう。図書・雑誌論文など各種文献を概観し、同一テーマでの研究例などを調べるのが大切です。

② 文献(情報)を探す

テーマが決まったら、OPAC(上智大学蔵書検索)、各種データベース、レファレンス資料等を駆使して、テーマに関する文献(情報)を探しましょう。必要に応じて文献リストを作成します。

③ レポート・論文を 執筆する

文献による情報、それ以外の調査データ、アンケート、フィールドワーク(取材)等の客観的事実を踏まえ、レポート・論文を執筆しましょう。

今回は文献リストを作成します

Refworksを使って「地球温暖化」に関する文献リストを作る ■■■■

レポートや論文では、本文中で参考にしたり引用した文献を、文献リストとして末尾に提示します。参考文献リスト中の文献情報は、読者が資料を特定できるように書く必要がありますが、項目や書き方は分野や雑誌などで異なります。

自分が集めた文献(情報)は、OPAC(蔵書検索)からであったり、論文情報データベースからなど様々です。そこで今回ご紹介する「RefWorks」というソフトを使うと、収集した文献(情報)を効率的に整理でき(手作業だと大変です)、レポート・論文執筆に大変役に立ちます。

Refworksとは

自分専用のWebページに、検索した文献(情報)を簡単に保存できるサービスです。保存するだけでなく、そのデータを編集・整理でき、それらをもとに参考文献リストも簡単に作ることができます。ただし、RefWorksでは、最初、データは何も入っていません。辞事典データベースJapanknowledge+や、論文情報ナビゲータCiNiiのように、最初からデータが入っていて、そこから何かが検索できるといったものではないのです。OPAC、CiNiiなどから探した文献(情報)データを、まず自分でRefWorksに取り込む必要があります。一度、アカウントを作ってしまうと、その次からは自宅からでもRefWorksを使うことができます。ここでは、OPACで検索した結果をRefWorksに取り込み、「文献リスト」を自動作成するまでをご紹介します。

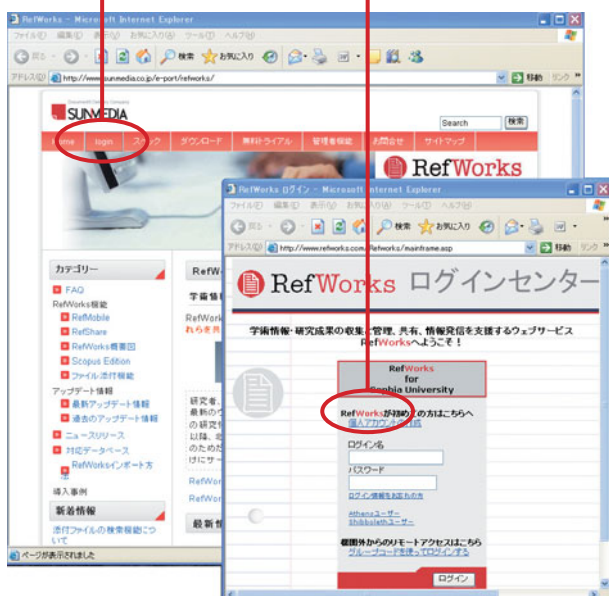
Refworksを使うには

図書館HP → データベース検索 → 画面右下「RefWorks」ボタンをクリック
グループコードを使うと学外(自宅など)からも使用できます。

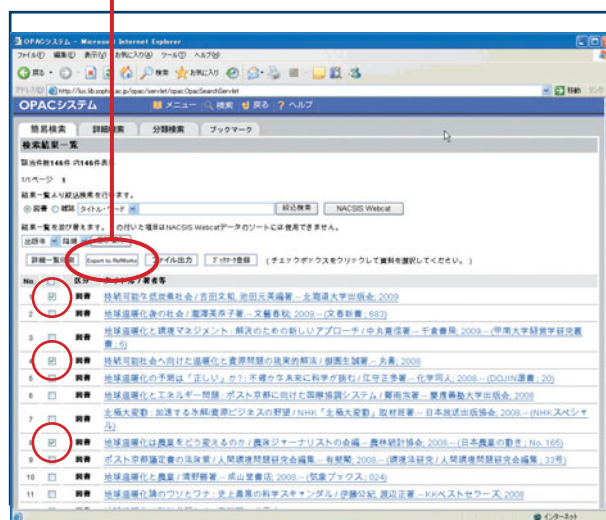
例) キーワードに「地球温暖化」でOPAC検索するケース・・・

- ①RefWorksにログインします。初めて使う場合は、**アカウントを作成**します。

loginをクリック



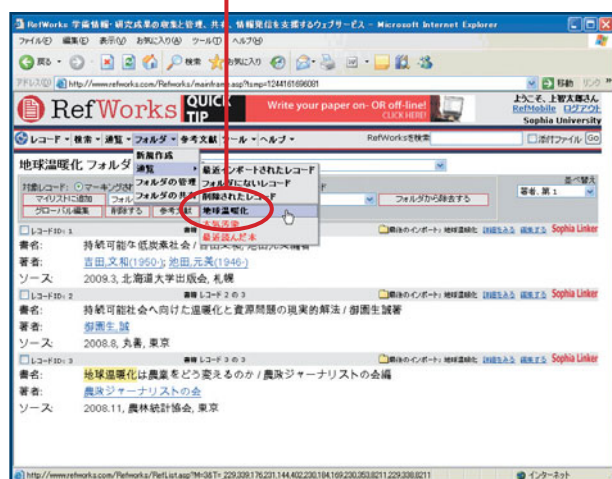
- ②OPACなど検索し、RefWorksに入れる文献（情報）を決めます。次に、それらをRefWorksに取り込み（**エクスポート**）ます。



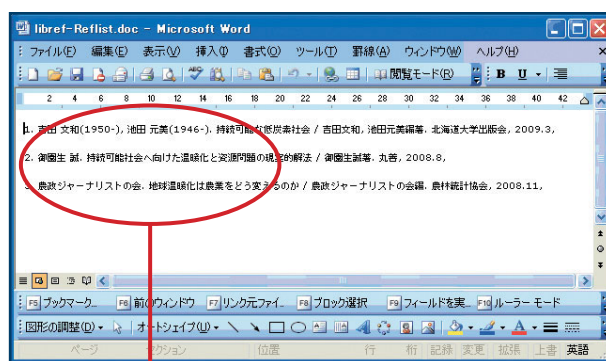
- Export to RefWorksボタンをクリックし、データを保存します。
- 次に、保存したデータをRefWorksの画面からインポートします。

- ③Refworks上に取り込んだデータを確認します。データはテーマ毎にフォルダで管理できます。

「地球温暖化」というフォルダを作り文献を整理します



- ④RefWorksの参考文献ツールバーをクリックし、希望のフォーマットで参考文献リストを作成します。ここではSISTO1という記述方法を選びました。



指定のフォーマットで参考文献リストが自動生成されます。

RefWorksに取り込んだデータの中を検索したり、特定のフォルダの情報を仲間と共有 (RefShare) することもできます。

文献の探し方、データベースの使い方が分からない場合には、図書館1階レファレンスカウンター（月～金、9:00～17:00）までお越しください。

図書館からのお知らせ

夏期休暇中の長期貸出について

夏期休暇に伴い、**8月2日(日)～9月23日(水)**は長期貸出を行います。

対象者：学部生、大学院生、聴講生、社専生、短大生、非常勤教員、館友会員

対象者	貸出日	返却期限
学部生	7月27日(月)～8月31日(月)	10月5日(月)
聴講生、社専生	9月1日(火)～9月30日(水)	10月14日(水)
短大生、館友会員		
大学院生	7月27日(月)～8月31日(月)	10月5日(月)
非常勤教員	9月1日(火)～9月14日(月)	10月14日(水)

夏期休暇中の開館時間等について

夏期休暇中(8月2日(日)～9月23日(水))は、各図書館の開館時間、各種サービス時間は授業期間中と異なります。サービス時間等は変更になる場合がありますので、詳細は図書館ホームページでご確認ください。

【中央図書館】

開館時間 月～金 … 9:00～18:00
土 … 9:00～17:00
休館日 日、祝日

サービス時間

サービス内容	月～金	土
1F 貸出	9:00～18:00	9:00～17:00
1F AVコーナー	9:00～17:00	なし
1F レファレンス	9:00～17:00	なし
2F 情報検索室・ コンピュータルーム	9:00～18:00	9:00～17:00
5F 複写サービス室	9:00～17:00	9:00～13:00

【法科大学院図書室】

開室・サービス時間
月～金 … 9:00～20:00
土、日、祝日…10:00～18:00
休室日 8月14日(金)～8月20日(木)、
8月30日(日)* 全学停電のため

※8月14日(金)～8月20日(木)は、レファレンスカウンター、AVコーナーのサービスはありません。5階複写サービス室は閉室です。セルフコピー機は利用できます。

【石神井分館】

9月の開館日・貸出サービス時間
月～金 … 9:00～17:00
休館日 8月2日(日)～8月31日(月)、9月の土、日、祝日



「命題集」

インキュナブラってなに？

マインツ（今日のドイツ西部）のJ・グーテンベルクらが1450年ごろ創始した鑄造金属活字を使った活版印刷によって15世紀中に印刷・出版された本をインキュナブラ（incunabula）といいます。上智大学図書館には、貴重資料として、以下のようなインキュナブラを所蔵しています。

- (1) Repertorium in opera Nicolai de Tudeschis -- [Andreas Torresanus, de Asula] 「ニコラウス・デ・トゥデスキス選集」1486?
- (2) Sermones quadragesimales Thesauri noui -- [Martin Flach] 「新編四旬節説教」1491
- (3) Vitae patrum -- A. Koberger 「教父たちの伝記」1478
- (4) [Sententiarum libri IV, with commentary of St. Bonaventure] / [Petrus Lombardus] -- Anthonius Koberger 「命題集」1491? など

閲覧方法などは、貴重資料データベース (<http://libknwlg.lib.sophia.ac.jp/>) を参照してください。



上智大学図書館だより No.5

発行所 上智大学図書館
〒102-8554
東京都千代田区紀尾井町7-1
TEL: 03-3238-3510
FAX: 03-3238-3139
発行日 2009年7月1日
印刷 株式会社ユニット
TEL: 03-5649-0031